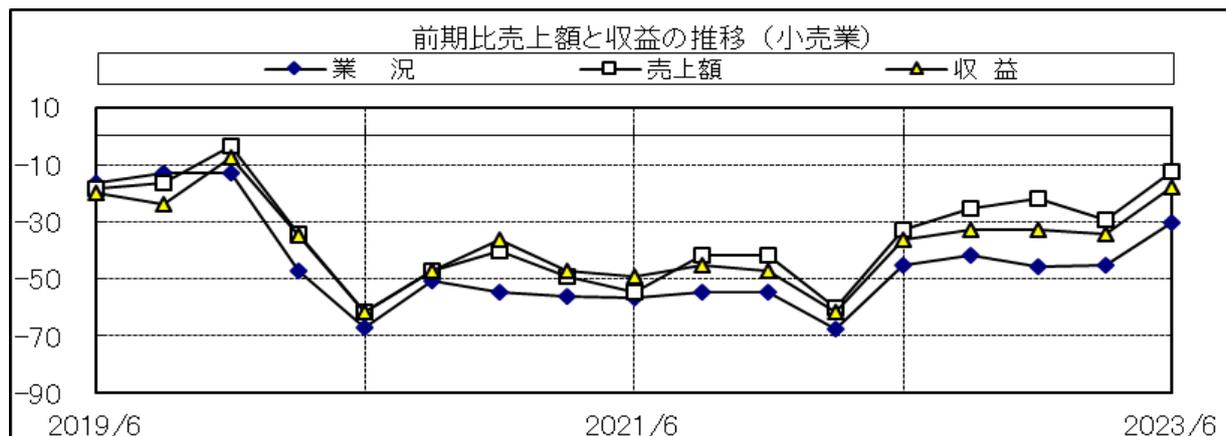


## 小売業 55企業（回答率 100%）の調査結果です

### □ 景況

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
業況	-45.5	-45.4	-30.3	-33.9
売上額	-21.9	-29.2	-12.6	-10.8
収益	-32.8	-34.5	-17.9	-14.4

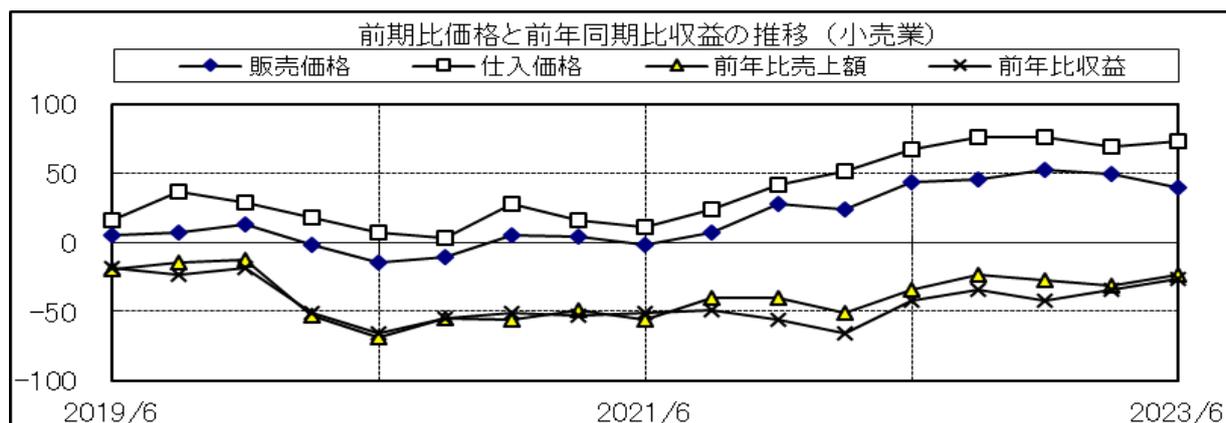
今期の業況判断 D. I. は△30.3 で、前期比 15.1 ポイント上昇。前年(△45.4)比では 15.1 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、静内が最も高く、次に、広尾、浦河・三石が同率、えりもと続き、様似が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△12.6 で、前期比 16.6 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は△17.9 で、前期比 16.6 ポイント上昇した。



### □ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
販売価格	52.6	49.1	39.2	42.9
仕入価格	76.4	69.1	73.2	53.6

販売価格判断 D. I. は 39.2 で、前期比 9.9 ポイント下降。前年(43.7)比 4.5 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 73.2 で前期比 4.1 ポイント上昇、前年(67.3)比では 5.9 ポイント上昇した。業種別では、衣料は、販売価格は下降、仕入価格は上昇。食料は、販売・仕入価格ともに上昇。家電は、販売・仕入価格ともに下降した。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	0.0	-7.3	-8.9	-7.1
人手状況	-25.4	-21.8	-19.7	-19.7

残業時間判断 D. I. は△8.9 で、前期比 1.6 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△19.7 で、前期比 2.1 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

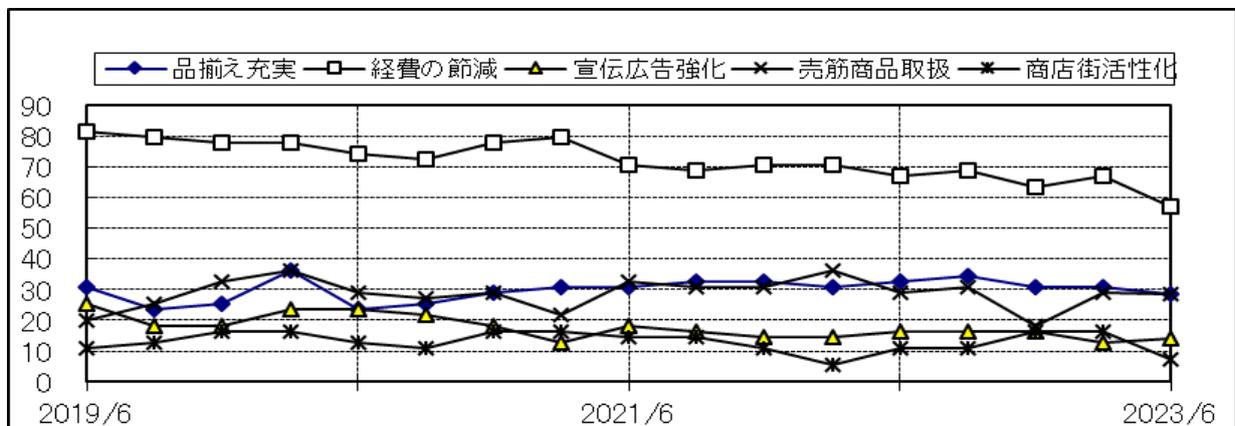
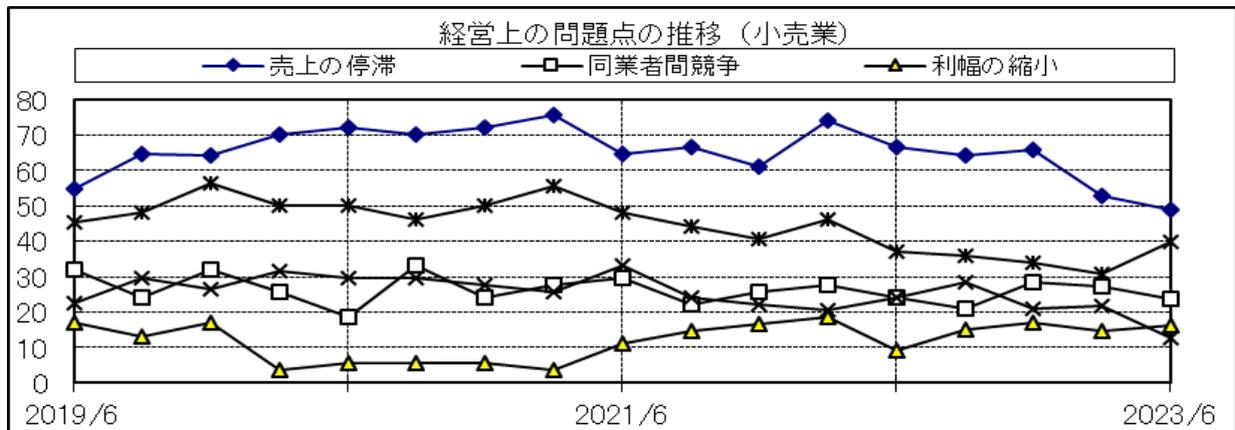
## □ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示す D. I. は△5.3 で、前期(△12.7)比 7.4 ポイント上昇した。設備実施企業割合は 5.4 で、前期(5.5)比 0.1 ポイント下降した。設備投資は、前期 3 社に対し 3 社の実施となった。来期の設備投資は、3 社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が 49.1%と最も多く、次に「商圈人口減少」40.0%、「値上要請」34.5%、「同業者競合」23.6%、「取引先減少」18.2%、「利幅縮小」・「商店街集客力低下」が 16.4%、「大型店競合」12.7%、「諸経費増加」9.1%、「人件費増加」7.3%、「人手不足」・「店舗狭隘老朽化」が 5.5%、「輸入製品競合」3.6%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が 57.1%と最も多く、次に「品揃え改善」・「売れ筋商品取扱い」が 28.6%、「仕入先開拓選別」23.2%、「宣伝広告強化」14.3%、「人材確保」10.7%、「新事業開始」・「商店街活性化」が 7.1%、「店舗設備改装」・「機械化推進」が 3.6%となった。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は△33.9 と、今期比 3.6 ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断 D. I. は△10.8 と、今期比 1.8 ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断 D. I. は△14.4 と、今期比 3.5 ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断 D. I. は 42.9 と、今期比 3.7 ポイントの上昇を見通している。

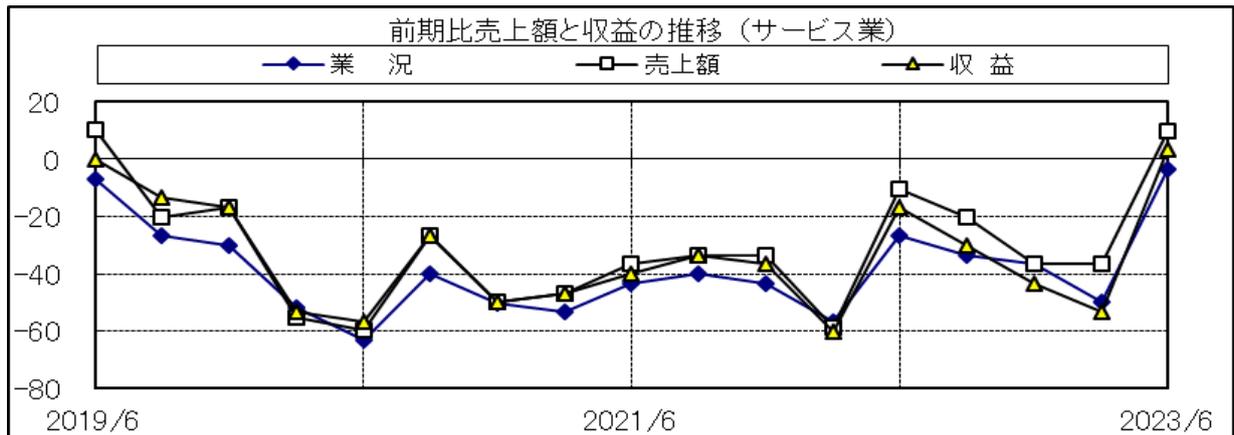
予想仕入価格判断 D. I. は 53.6 と、今期比 19.6 ポイントの下降を見通している。

## サービス業 30 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 概 況

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
業 況	-36.7	-49.9	-3.4	-23.4
売上額	-36.7	-36.7	10.0	-10.0
収 益	-43.3	-53.3	3.3	-16.7

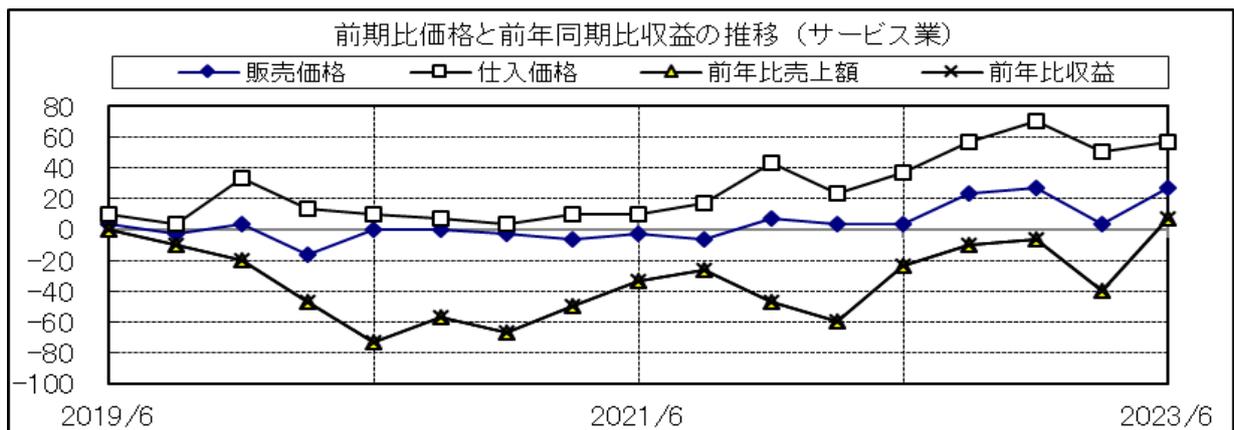
今期の業況判断 D. I. は△3.4 で、前期比 46.5 ポイント上昇、前年（△26.6）比では 23.2 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、広尾が最も高く、次に静内・三石・様似・えりもが同率で続き、浦河が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は 10.0 で、前期比 46.7 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は 3.3 で、前期比 56.6 ポイント上昇した。



### □ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
料金価格	26.7	3.3	26.6	26.6
材料価格	70.0	50.0	56.7	50.0

料金価格判断 D. I. は 26.2 で、前期比 23.3 ポイント上昇、前年（3.3）比では 23.3 ポイント上昇した。材料価格判断 D. I. は 56.7 で、前期比 6.7 ポイント上昇、前年（36.7）比では 20.0 ポイント上昇した。業種別の料金価格は、旅館業・洗濯理美容業・自動車整備業すべてで上昇。材料価格は、旅館業が横這い、洗濯理美容業・自動車整備業は上昇した。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	0.0	-13.4	13.4	6.7
人手状況	-16.7	-20.0	-33.3	-33.3

残業時間判断 D. I. は 13.4 で、前期比 26.8 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△33.3、前期比 13.3 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

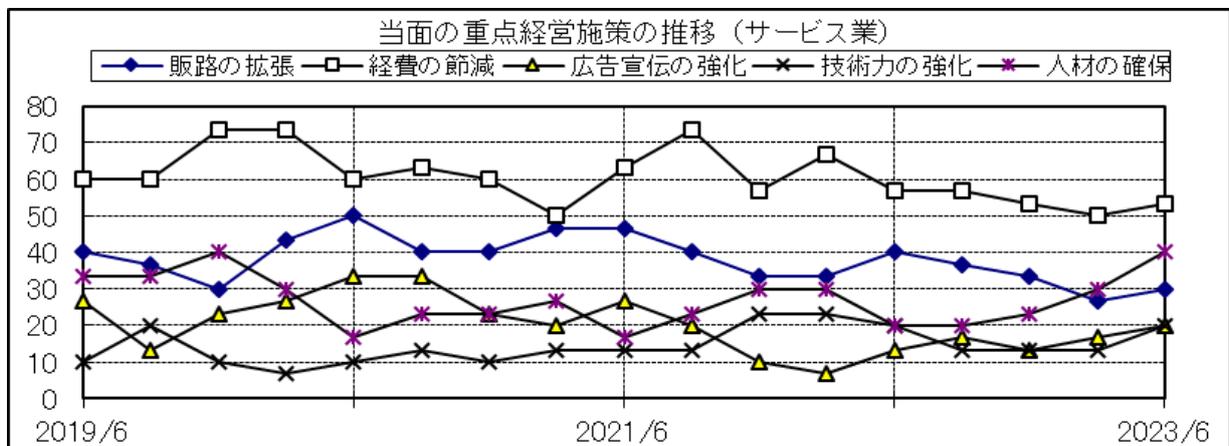
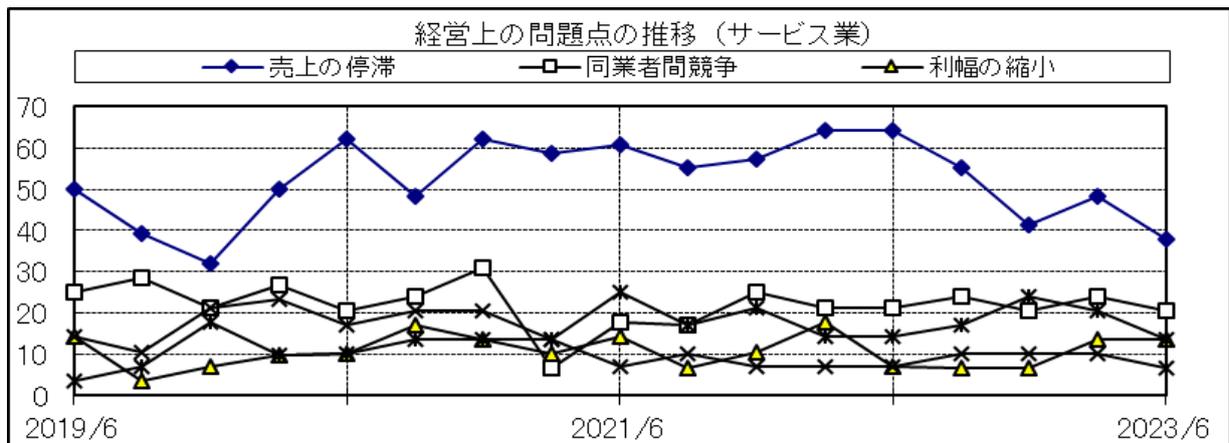
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は△13.3で、前期(△3.3)比10.0ポイント下降した。設備投資実施企業割合は10.0で、前期(10.0)と同水準となった。設備投資は、前期3社に対し、3社の実施となった。来期の設備投資は、3社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格上昇」が62.1%と最も多く、次に「売上停滞減少」37.9%、「人手不足」31.0%、「商圏人口減少」27.6%、「同業者競争」20.7%、「利幅縮小」・「諸経費増加」・「地場産業衰退」が13.8%、「取引先減少」10.3%、「合理化不足」・「人件費増加」が6.9%、「大手企業競争」・「料金値下要請」・「店舗設備老朽化」・「代金回収悪化」が3.4%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が53.3%と最も多く、次に「人材確保」40.0%、「販路拡大」30.0%、「宣伝広告強化」・「技術力強化」が20.0%、「機械化促進」・「教育訓練強化」・「労働条件改善」が6.7%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△23.4と、今期比20.0ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は△10.0と、今期比20.0ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は△16.7と、今期比20.0ポイントの下降を見通している。

予想料金価格判断D. I. は26.6と、今期と同水準を見通している。

予想材料価格判断D. I. は50.0と、今期比6.7ポイントの下降を見通している。